



7月1日熊本大空襲慰霊祭 (10時～10時30分)



◇アジェンダ

司会進行肥後東 LC 幹事 L. 濱崎 憲一郎

- 337E 地区代表挨拶→カバナーL. 高野 裕子
- 主催クラブ挨拶→肥後東 LC 会長 L. 濱洲 真剛
- 黙祷 参列者全員
- 熊本大空襲を語る(平和への願い)→L. 島 清房(熊本サンライズ LC)



- 献花→肥後東 LC 会長 L. 濱洲 真剛 肥後東 LC 第一副会長 L. 靄 良子



※花束→マリーゴールド

- 〆の挨拶→6ZZC:L. 亀浦 正行 ※次回ホスト LC 熊本葵 LC

◇備品→マイク拡声器 1台 6月25日慰霊碑洗浄(L. 民本)

- 机/椅子(L. 島用)・テント(L. 小杉) *今回は、お茶の準備無し

※慰霊祭開催=国交省白川河川事務所届



肥後東ライオンズクラブ事務局
加田哲郎 080-8551-4215

《令和2年7月1日 熊本大空襲慰霊祭参加者名簿》



7	クラブ名	参加者(役職)氏名		
1	熊本 LC	会長 L.真子 秀樹		
	熊本サンライズ LC	会長 L.島 清房	幹事 L.堀江 正二郎	
	熊本白門 LC	会長 L.吉田 秋正		
	熊本黄壁城 LC			
	熊本平成 LC	地区カバナー L.高野 裕子	1ZZC L.坂井 幸一	会長 L.森本 文彦
	肥後熊友 LC			
	熊本多土 LC			
2	熊本第一 LC	会長 L.横田 洋一		
	熊本りんどう LC			
	熊本火の国 LC	会長 L.田中 敦朗		
	熊本金峰 LC			
	熊本リバティ LC	会長 L.山田 晃		
	肥後黎明 LC	会長 L.武原 賢典	幹事 L.竹之下 美芙子	
6	熊本中央 LC	6ZZC L.亀浦 正行	会長 L.濱田 麻里	
	熊本キャッスル LC	地区情報テクノロジー 広報委員長 L.柏木 茂	会長 L.古閑 明則	会計 L.糸永 佳代
	熊本東 LC	会計 L.松村 篤彦		
	熊本菊南 LC	会長 L.二木 和朝	幹事 L.平田 陽一	
	熊本城東 LC	会長 L.添島 弘文	幹事 L.辻 利則	
11	熊本マグナ LC	会長 L.渡邊 久也	幹事 L.松尾 昭治	L.中尾 寿孝
	熊本龍峰 LC	会長 L.戸川 龍子	幹事 L.鹿子木 裕二	
	熊本南 LC	地区キャブネット幹事 L.國崎 修	地区情報テクノロジー 広報委員 L.椛島 弘彰	会長 L.大鶴 朋也
	熊本城北	会長 L.境 省二	幹事 L.江藤 隆	
	熊本葵 LC(次回担当)			
6	肥後東 LC(担当 LC)	会長 L.濱洲 真剛	幹事 L.濱崎 健一郎	会計 L.柏木 哲弥
		第一副会長 L.轟 良子	L.小杉 康太	事務局 L.加田 哲郎

熊本サンライズ LC の島です。

ホストクラブから慰霊祭の語り部をと、指名ありましたので、簡単に、当時の体験をお伝えいたしたいと思い引き受けました。

この慰霊碑は、1980年建立 7クラブ、今年丁度40年現在 24 クラブです

75年前の今日、私は、此処から150メートル位先の、水道町の真ん中、現朝日生命ビルの所の自宅におりました。濟々巒5年、当時、健軍の三菱 1091 飛行機工場に学徒動員中でした。工場には、名古屋から、熟練の年配工員の下で、市内の全中学校、又宮崎の中学校の生徒も加えて、「月月火水木金金」で、飛行機の製造に従事しておりました。 製造番号キー67、通称「飛龍」戦闘爆撃機です。工場でも、何度かグラマンの機銃掃射・爆弾攻撃に会いました。

あの日

警報で、一度自宅の防空壕に入ったのですが、爆撃が始まったのは、まだ明るかった時間？だと思います。

横着に屋外に出たとき、南方の「千徳百貨店と松本馬車との間の道路」に一発、北署と西郷病院の間の電車道りに一発、大型？焼夷弾が落ちて、両側に一気に燃え上がりました。

熊本第一の高層建築「千徳」が、真っ赤に、鉄骨の骨組みを見せて、崩れ始め、 県庁も、北署も炎上し始め、夜空を染めていきました。

既に、大江方面、新市街方面は、本当に火の海でした。 消防車が一台、大甲橋を渡って大江に消えていったのが、今でも目に残っております。後どうなったんでしょう？

暗い夜空から、焼夷弾？は、ザーザーと音立てて、落ちてきました。

雨？も降ってきました。 何の雨だったのでしょうか？

下通り側と水道町側は、広い電车道があり、又火砕流は、炎上中の下通りに向かって流れておりますので、延焼はしませんので、少々安堵しておりましたが、明け方、大甲橋際の高い建物に火が付き、消火でできず、遂に、水道町側が炎上し、角の電車市場、明円寺、江藤病院、ルーテル教会

そして、遂に我が家も延焼しました。

カトリック教会、手取神社は無事でした。境内が広がったからでしょう

防火員と一緒に、消火に当たりました。が、防火用水もなくなり、櫻井町の親戚(東京庵)に避難しましたが、そこも避難準備で、老叔母を背負って、千葉城に逃げました。途中振返って見れば上通りは、物凄い大きな火の子が、下通り方面に流れ、大火災の火流の怖さを知りました。

火の子払いに人が水を掛けられくれましたが、とても重くなって、時々叔母を下しました。

千葉城は、老人子供の避難民で、一杯、将校がきて、怒鳴って狂態でした。

熊本城は、師団司令部があつたが、被災なし？

夕方、上通りは、延焼しなかったので、親戚の家に帰り、疲労困憊で何時間か寝込みました。我が家がないので、結局終戦まで寄留しました。

葵LCの国米ライオンの実家「司旅館」は、親戚「東京庵」の向い側で、延焼なしでした

今の、白川公園にあった、

県庁舎と北署、図書館、武徳殿、支那語学校は、炎上しましたが、日赤本社(ジーンズ邸)、日赤病院、知事公舎、内務長公舎、警察本部長公舎、そして、今ここにあった、職員公舎は、無事でした

延焼は、水道町真ん中の荒木又衛門(葬儀屋)の所で、止まったので、又衛門が止めたんでしょう

空襲のあとは、健軍工場には、行かなかったです。学生がおらねば製造出来なかったと思います。43機まで、造ったと思います。

終戦まで15日

焼け残りの家に人は集まるもので一日中無為徒食でした。マージャンも覚えました。

勿論、終戦の玉音放送も其処で、聞きました。

8月15日は、7月1日の大空襲の真っ赤な火空に比べ、真っ青な快晴でした

ポツダム宣言のビラが、空を覆って、舞い降りてきたのは、何日だったでしょうか？

(今、持っておれば、お宝でしょう)

中国軍が長崎に上陸するから、女子供は、田舎に避難せよの流言飛語にて、熊本駅は、大混雑でした(私は、まさか?と思い駅まで行ってみました)

昭和20年 誰もが、困窮の中、何とか生き延びてきました。



戦後の復興は、本当に早かったです。区画整理後、見る見る町並みが出来、実家も、竹瓦の食堂を建て、昭和末年まで、現地で暮らしました。

75年余で、近くに空襲の痕跡は、全く見当たりませんが、多くの死者と甚大な被災を二度見る事のない様、願うばかりです。

明治の初め、クラーク博士は「大志を抱け」と云い、新時代の発展に青年を送りました・

私の恩師鹿児島工専の梶島二郎先生は、昭和23年春、荒廃した鹿児島市街を指さし、「落第はさせん、一日も早く、社会に出て、この国を復興してくれ」と言われました。日本は見事に復興しました。

でも、でも ホーキング博士は、「人類は自分の知恵:人工頭脳で破滅する」と警告されました。

第三次世界大戦を危うく回避しましたが、
若し、次に大戦があれば、空襲なんて、のんびりしたものではありません。
一瞬で壊滅でしょう

人類は、絶対に争いなき世界を造るべきです。現状は果たして如何なるものか？

慰霊祭に鑑み、走馬灯のように、あの日あの時が臉に浮かびました。 終わります。

ご清聴ありがとうございました。

【熊本サンライズ LC L.島 清房 93 歳】

